

80年以上も前の人形を披露

8月21日～9月30日 青い目の人形を展示

昭和初期に、日米親善のためにアメリカから贈られた青い目の人形「フローレンス」を、市役所伊豆長岡庁舎で展示しました。「フローレンス」とは、のぞみ幼稚園にある青い目の人形の愛称です。

このほど、この人形が現存する300数体のうちの貴重な1体であると、『「富士山三保子」の里帰り展示を実現させる会』が確認しました。

展示した人形に目を向ける市役所来場者▶



明治政府が設置した葦山県



八王子にまで及んだ葦山県

8月29日 「葦山県」をテーマに歴史講座が開催

伊豆の国市友好都市交流協会主催の歴史講座「明治政府が設置した葦山県」が、あやめ会館を会場に開催されました。会員ら約100人が来場し、地元の歴史話に熱心に耳を傾けました。

江川文庫学芸員の橋本敬之さんを講師に迎え、八王子までを含んだ葦山県や、その地域を戦国時代に支配していた北条氏などの講話がありました。

◀ユーモアを交えながら講話を進める橋本さん

段ボールでオリジナル甲冑作り

9月6日 こども甲冑教室を開催

伊豆の国時代まつりのイベントの一つとして「こども甲冑教室」を、葦山福祉・保健センターで開催。25組の親子が集まり、段ボールを組み立てたり、色を塗ったりしてオリジナルの甲冑を作りました。

同教室は10月にも開催、参加者を募集しています。詳細はP.22「伊豆の国時代まつり」参照。

協力して制作に取り組む参加親子▶



高齢者を宴席でもてなし

9月6日 大北地区敬老会が開催

これまで地域の発展に尽力された高齢者を敬う敬老会が、市内各地で開催されました。

公民館で行われた大北地区の敬老会には、対象となる75歳以上の42人が参加。区長や組長ら地区役員が宴席を用意し、ゲストによるフラダンスの披露や二胡の演奏などの余興でもてなし参加者を敬いました。

◀会食を楽しむ皆さん



雨天にもかかわらず11,000人が参加

8月30日 伊豆の国市総合防災訓練を実施

9月1日の防災の日を前に、伊豆の国市総合防災訓練を市内各地で実施。雨天にもかかわらず市内全域で11,000人を超える市民が参加しました。

広域避難所開設訓練が行われた大仁小学校では、参加した中学生らを対象に、女性消防隊によるAEDの使い方講座など行いました。また、原木公民館では、平成16年の新潟県中越地震を体験した小嶋正哉さん（中区在住）を講師に招き、防災講演会を開催。参加した原木区民は“生”の体験談を真剣に聞き入りました。

今回の訓練は、南海トラフ巨大地震などの大規模地震（マグニチュード8.0クラス、市内全域で震度6以上を観測）の発生を想定して行われました。



①被災体験を語る小嶋さん（原木）②消防団と放水を行う中学生（三福）③女性消防隊から心臓マッサージを教わる参加者（大仁小）④田方消防指導の下、ロープの使い方を学ぶ（長岡北小）



賞状を手写真に納まる各団体の皆さん

（上段左から「江間地区」「小坂第一花の会」「小坂緑化美化委員会」下段「さくらの会」）

長年の河川・道路の美化活動を評価

8月 4団体が美化活動の功績が認められ受賞

河川愛護団体「江間地区」、道路愛護団体「さくらの会」「小坂第一花の会」「小坂緑化美化委員会」の4団体が、長年にわたる河川および道路の美化活動の功績が認められ、感謝状などを受賞しました。

小坂の両団体は国土交通大臣から感謝状を、「江間地区」は知事褒賞を、「さくらの会」は静岡県道路利用者会議会長から感謝状を受賞しました。

茅野っ子でサバイバル

8月15日16日 ふるさと学級でキャンプを実施

ふるさと学級の子どもたちを対象に「サバイバル？キャンプ/デイキャンプ」を、茅野っ子ひろば（野外活動センター）で行いました。3年生から6年生までの子どもたち約60人が集まり、テント設営や夕食材料の買い出し、夕食作り、食器作りなどをみんなで協力して実施。市内にしながら、「自分たちで考えて行動する」サバイバルを楽しみました。

協力してテントを設営する子どもたち▶

